

①干支・六十干支について

干支は、十干・十二支の組合せにより年や日を表すものです。

中国から伝来した干支を、日本では陰陽道の五行（木火土金水）に当てはめ、兄（え）と弟（と）に分けて十二支に配す工夫がなされています。

この組合せでは、60通りの表し方ができ、この一巡りを「還暦」といいます。

【十干十二支の組合せ】

十 干			十 二 支			
甲	きのえ	兄(え)	木の	子 ね/シ		
	コウ			0時ごろ(夜半)		
乙	きのと	弟(と)		丑 うし/チュウ		
	オツ			2時ごろ(鶏鳴)		
丙	ひのえ	兄		火の	寅 とら/イン	
	ヘイ				4時ごろ(平旦)	
丁	ひのと	弟			卯 う/ボウ	
	テイ				6時ごろ(日出)	
戊	つちのえ	兄			土の	辰 たつ/シン
	ポ					8時ごろ(食時)
己	つちのと	弟				巳 み/シ
	キ					10時ごろ(禺中)
庚	かのえ	兄	金の			午 うま/ゴ
	コウ					12時ごろ(日中)
辛	かのと	弟				未 ひつじ/ビ
	シン					14時ごろ(日昃)
壬	みずのえ	兄		水の		申 さる/シン
	ジン					16時ごろ(晡時)
癸	みずのと	弟				酉 とり/ユウ
	キ					18時ごろ(日入)
					戌 いぬ/ジュツ	
					20時ごろ(黄昏)	
					亥 い/ガイ	
					22時ごろ(人定)	

【干支順位表】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
一	甲子 (きのえね)	乙丑 (きのとうし)	丙寅 (ひのえとら)	丁卯 (ひのとう)	戊辰 (つちのえたつ)	己巳 (つちのとみ)	庚午 (かのえうま)	辛未 (かのとひつじ)	壬申 (みずのえさる)	癸酉 (みずのととり)
二	甲戌 (きのえいぬ)	乙亥 (きのとみ)	丙子 (ひのえね)	丁丑 (ひのとうし)	戊寅 (つちのえとら)	己卯 (つちのとう)	庚辰 (かのえたつ)	辛巳 (かのとみ)	壬午 (みずのえうま)	癸未 (みずのとひつじ)
三	甲申 (きのえさる)	乙酉 (きのととり)	丙戌 (ひのえいぬ)	丁亥 (ひのとみ)	戊子 (つちのえね)	己丑 (つちのとうし)	庚寅 (かのえとら)	辛卯 (かのとう)	壬辰 (みずのえたつ)	癸巳 (みずのとみ)
四	甲午 (きのえうま)	乙未 (みのとひつじ)	丙申 (ひのえさる)	丁酉 (ひのととり)	戊戌 (つちのえいぬ)	己亥 (つちのとみ)	庚子 (かのえね)	辛丑 (かのとうし)	壬寅 (みずのえとら)	癸卯 (みずのとう)
五	甲辰 (きのえたつ)	乙巳 (きのとみ)	丙午 (ひのえうま)	丁未 (ひのとひつじ)	戊申 (つちのえさる)	己酉 (つちのととり)	庚戌 (かのえいぬ)	辛亥 (かのとみ)	壬子 (みずのえね)	癸丑 (みずのとうし)
六	甲寅 (きのえとら)	乙卯 (きのとう)	丙辰 (ひのえたつ)	丁巳 (ひのとみ)	戊午 (つちのえうま)	己未 (つちのとひつじ)	庚申 (かのえさる)	辛酉 (かのととり)	壬戌 (みずのえいぬ)	癸亥 (みずのとみ)

②方位・時刻表

江戸時代を通じて、時刻は定時法（ていじほう）と不定時法（ふていじほう）で表されました。

【定時法】

真夜中と真昼を「九（この）ツ」とし（現行の0時・[12時]の前後2時間）、それぞれ2時間ごとに「八（や）ツ」「七（なな）ツ」「六（む）ツ」「五（いつ）ツ」「四（よ）ツ」となります。真夜中「九ツ」は「子の刻（ねのとき）」とし、順に十二支を配し12の刻を設定しました。また、刻（2時間分）は、半分（半刻）に分けたり、三等分（上刻、中刻、下刻）し表すことがあります。



出典：『基礎古文書のよみかた』（柏書房 1998）

【不定時法】

日の長さによって決める時間です。日の長さは、季節により昼夜の時間が異なるため、日の入りを「暮れ六つ（くれむつ）」、日の出を「明け六つ（あけむつ）」と決め、日中と夜中をそれぞれ六等分します。この場合、日の長い夏至の日中の「一時（いつとき）」はおおよそ2.6時間、日の短い冬至ではおおよそ1.8時間となります。

刻	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子
時	曉九ツ	曉八ツ	曉七ツ	明六ツ	朝五ツ	朝四ツ	風九ツ	風八ツ	風七ツ	暮六ツ	夜五ツ	夜四ツ	曉九ツ
現行時刻	夜12時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	夜12時
春分	[Shaded]						[Shaded]						
秋分	[Shaded]						[Shaded]						
夏至	[Shaded]						[Shaded]						
冬至	[Shaded]						[Shaded]						

③貨幣一覧

- 金貨
 - 1両 = 4分 (= 永1貫文)
 - 1分 = 4朱 (= 永250文)
 - 1朱 (= 永62文5分)
- 銀貨
 - 1貫目 = 1000匁
 - 1匁 = 10分
 - 1分 = 10厘
 - 1厘 = 10毛
- 銭貨
 - 1貫文 = 1000文
 - 10文 (= 1匁)
- 三貨換算率 (公定)
 - 慶長9年 (1604)
 - 金1両 = 銀約43匁 = 永樂通宝1000文
 - * 永樂通宝1文 = その他の銭4文
 - 慶長14年 (1609)
 - 金1両 = 銀50匁 = 銭4000文
 - 元禄13年 (1700)
 - 金1両 = 銀60匁 = 銭4000文
 - 天保13年 (1842)
 - 金1両 = 銀60匁 = 銭6500文
 - 明治2年 (1869)
 - 金1両 = 銭10000文
- 鋳 (びた)
- 永樂銭 (えいらくせん)
- 九六銭 (くろくせん)

(ヨミ)

両 (りょう) ・ 歩 (ふ) ・ 分 (ぶん) ・ 朱 (しゆ) ・ 厘 (りん) ・ 毛 (もう) ・ 文 (もん)

④度量衡一覧

- 度 (長さ・里程)
 - 1丈 = 10尺
 - 1尺 = 10寸
 - 1寸 = 10分
 - 1分 = 10厘
- 量 (容積)
 - 1里 = 36町
 - 1町 = 60間
 - 1間 = 曲尺6尺
 - 1石 = 10斗
 - 1斗 = 10升
 - 1升 = 10合
 - 1合 = 10勺
 - 1勺 = 10才
 - 1才 = 10弗
- 衡 (斤両鉄及び重さ)
 - 1斤 = 16両
 - 1両 = 4分
 - 1分 = 6銖
 - 1貫 = 1000匁
 - 1匁 = 10分
 - 1分 = 10厘
- 面積 (広さ)
 - 1町 = 10反 (段)
 - (1ha) 1反 = 10畝
 - (10a) 1畝 = 30歩 (分)

(ヨミ)

丈 (じょう) ・ 尺 (しゃく) ・ 寸 (すん) ・ 分 (ぶん) ・ 釐 (りん) ・ 厘 (りん) ・ 石 (こく) ・ 斗 (と) ・ 升 (しょう) ・ 合 (ごう) ・ 勺 (しゃく) ・ 才 (さい) ・ 弗 (ふつ) ・ 斤 (きん) ・ 両 (りょう) ・ 鉄 (しゆ) ・ 貫 (かん) ・ 匁 (もんめ) ・ 町 (ちやう) ・ 反 (たん) ・ 畝 (せ) ・ 歩 (ふ) ・ 分 (ぶん)